



あおいちゃんとふたばベアのパリ旅行

おやおや、あおいちゃんとふたばベアがパリのモンマルトルという場所に来ているようですよ。せっかくだから、2人について行ってみましょう。

ふたばベア： わぁ！ここがモンマルトルのテルトル広場！？すごい、たくさんの画家さんがお客さんの似顔絵を描いているね！

あおい： このモンマルトルっていう場所は、150年くらい前から芸術家が集まるようになってね、あの有名な画家モネやゴッホもここに来ていたのよ！

ふたばベア： そうなの！それじゃあ、ここは、画家の聖地なんだね！
あ！あおいちゃん、見て見て！あの画家さん、とってもきれいな絵を描いているよ！
あんな風に描きたいなあ

画家のお兄さん： おや、こんにちは。褒めってもらってうれしいよ！
お礼に楽しく色を塗るコツを教えてあげよう。
例えば、このバラはどうか？

どうやら特別に、画家のお兄さんが楽しく色を塗るコツを教えてくださいたいですね。
皆さんも一緒に絵をかいてみませんか？

(記事の最後に原画があるので、皆さんはそれをコピーしてくださいね)



ここ、モンマルトルに、かつて集まっていた画家たちは、しきたりにとらわれず、自由な表現方法で絵を描いたんだ！
皆も、写真のように絵を描こうと思わずに、好きな色で花に色を塗ってみよう！

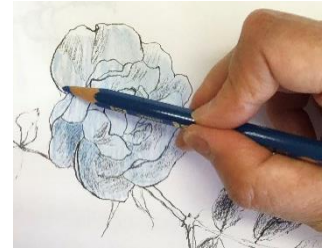


①：色を決めよう

画家のお兄さん： 君の好きな色は何か？
僕は青が好きだから、青系の色で色を塗っていくよ。
皆も好きな色を選んでね。
ふたばベア： 何の色でもいいの？実際のバラの色じゃなくても？
画家のお兄さん： もちろん。

②：実際に塗ってみよう

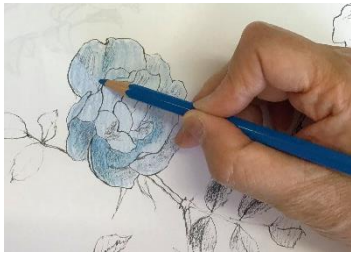
画家のお兄さん：まずは全体に薄く色をぬって



画家のお兄さん：そのあと影の部分に濃く塗ってみよう。

僕は青系の色で塗っているから、紺色や水色などでも塗っていくよ。

影の部分や花びらが重なっているところを濃く、影になっていないところや花びらが重なっていないところを薄く塗っていきこう。



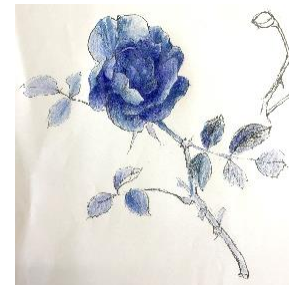
画家のお兄さん：できたかな？では次に茎と葉の部分に塗っていきこう。

茎や葉も、花と同じように薄く塗ったり濃く塗ったりして影を付けていきこう。



画家のお兄さん：さあ、完成したかな？

似たような色で塗るのも違う雰囲気が出るだろう？



ふたばベア： うん！これまでは、しっかり写真のように塗らないといけないと思って絵をかくときに緊張してしまっていたけれど、こんな表現方法もあるんだね！

画家のお兄さん：どのように絵を描くかは自分次第さ。もう一枚、僕のお手本はないけれど、色を塗ることができるばらの絵を載せておくから、自由に塗ってみるといいよ。

小さく印刷して、はがきなどに貼ってもいいね！

<あおいちゃんとふたばベアの作品集>



違う色味を使って塗ってみたものもあるよ！

<挑戦してみよう>



もっといろいろな表現をしたいって？
そんな人は下のような塗り方に挑戦してみよう。

- 立体を意識しないで塗ってみよう。
写真のように塗る必要はないのだから、立体的に塗る必要もないのさ。



- 上で書いた絵の濃い部分と薄い部分を逆にして塗ってみよう。
上の絵で濃かった部分は薄く、薄かった部分は濃く塗ってみるんだ。

ちなみに、下の URL からゴッホの絵の無料の塗り絵がダウンロードできるから、挑戦してみるのもいいんじゃないかな。

<https://www.vangoghmuseum.nl/en/whats-on/children-and-families/van-gogh-colouring-pages>

それから、「雙葉の窓から」の感想を送ってくると嬉しいな。
下の URL またはバーコードから記入してね。

<https://forms.gle/PtpkwoBxmbMRXd8s6>





